



平成 25 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 10 月 12 日の平成 24 年 8 月期決算発表時に開示した平成 25 年 8 月期第 2 四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 8 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正 (平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日)

(単位: 百万円)	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	540	35	25	22	1,261.03
今 回 修 正 予 想 (B)	580	80	85	82	4,700.21
増 減 額 (B-A)	40	45	60	60	
増 減 率 (%)	7.4	128.6	240.0	272.7	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 8 月期第 2 四半期)	623	59	44	△6	

2. 修正の理由

第 2 四半期累計期間の売上高につきましては、半導体分野では市場停滞が長引く中で、FPD 分野においてスマートフォン向けの装置部品の売上高が好調に推移したことから増額修正いたします。営業利益につきましては、材料費比率が低い売上の割合が増えたこと等で、売上高は増加しながらも製造費用が低減する見通しである事と、販売管理費も圧縮気味に推移している事などから、売上高増加と費用低減効果によって 80 百万円に増加する見通しとなりました。また、経常利益につきましては、為替相場の変動により為替差益が 15 百万円発生し 85 百万円に増加する見通しとなりました。四半期純利益につきましては、経常損益の改善に伴い増加する見通しです。なお、上記の為替差益については、平成 25 年 8 月期第 2 四半期における為替変動の影響によるものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

通期業績予想につきましては、第 2 四半期累計期間は堅調に推移したものの、半導体分野の市場環境が不透明であることから、通期における業績予想は前回発表より変更しておりません。

以 上

(注) 本資料に記載されている当社の第 2 四半期累計期間の業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。